

第3回 名寄市総合計画審議会【顛末】

日時：令和8年2月2日（月） 18時30分～19時40分

場所：名寄市役所 名寄庁舎4階 大会議室

1 開 会

櫻田総合政策室長より開会

2 会長挨拶

結城会長挨拶

3 議 事

- (1) 名寄市総合計画（第2次）後期実施計画の見直しについて [資料1]

事務局より説明

【質疑応答】

特になし

- (2) 将来人口推計について [資料2]

- (3) アンケートの結果について [資料3]

事務局より説明

【質疑応答】

委 員：人口規模が減少していった際、名寄の基幹産業である1次産業をはじめ2次産業、3次産業の維持はなかなか難しいと思う。ある基準を下回ってしまうと立て直しが難しいと考えられる総人口のデッドラインがあれば教えてほしい。従事者割合で言えば農業は全体の10～12%程度で推移しており、ふるさと納税で稼げている部分はあるが、一過性のものだと思う。将来人口の話聞いていて、総人口のデッドラインはどのあたりになるのか知りたい。

事務局：一概に言えない部分があると思っている。例えば、現状の出荷量や販売金額を維持するためにはどれくらいの農業従事者が必要なのかというのは何らかし計算することで算出することはできるかもしれないが、今後は農業の生産性が上がってくるということも踏まえると、人口規模もしくは従事者の規模として語ることはできない部分があるというのが正直なところと考えている。

- (4) 基本構想の案について [資料4]

事務局より説明

【質疑応答】

委 員：基本理念が1から3まで設定されており、これらの内容については良く分かった。この基本理念が5つある基本目標のすべてについて含まれているかどうか確認したい。基本理念のもとに基本目標があると思っている。基本理念はどちらかと言えばソフトな部分が強調されている感があるが、基本目

標の中にはハード的な部分もある。基本理念と基本目標の関係性に整合性があるのかどうかを確認したい。

事務局：例えば、基本理念の中の「つながりづくり」では、基本目標の市民参画といった部分を包含していくなど、今回設定した基本理念で基本目標を包含していくと考えている。

言葉として基本理念と基本目標は似ていて分かりにくい面があるが、基本理念はまちづくり全体を通した考え方と認識いただきたい。基本目標は主要施策をまとめた5つの分野が目指すべき姿として設定しているが、基本理念は5つの基本目標を実現するために大切にしたいこととして設定している。

委員：言われていることは良く分かるが、基本理念が基本目標全てを包含しているのかどうか。基本目標の中のソフト的な部分については重々承知しているが、基本目標の中にはハード的な部分があり、基本理念がこれら全てに串が刺さっているのかどうか疑問に思う。つながりがあるのは分かるが、その上に何かあるような気がする。

事務局：5つの基本目標をクリアするために3つの基本理念があるということであり、ハード的な面に関しても基本理念の「幸せづくり」が刺さってくるということでご理解いただきたい。

会長：28頁の「施策の体系案」のところで、基本目標と主要施策の関係性が説明されているが、基本理念がどう関わってくるのかの説明がどこにもないと思う。関係性を示してもらえると分かりやすいと思う。

事務局：現状の体系案は「将来像」「基本目標」「主要施策」を記載しているが、ここに「基本理念」をどのように記載するか検討したい。

会長：今回、アンケート調査や市民ワークショップなどを通じて、丁寧に市民の意見を聞いてもらっている。その中で捉えられた市民のご意向は、基本構想のどこに生かされているか教えてほしい。

事務局：市民ワークショップには111名にご参加いただき、色々なご意見をいただいた。関係団体との懇談会なども実施した中で思ったのが「つながりづくり」という言葉。名寄は都会にはない町内会などの人のつながりを強く感じ、もっと人口の少ないまちでは町内会が大変だったりすることもあるが、名寄はちょうどいいまちであるという意見が多かった。「にほんごひるば」で外国人の方の意見も聞いたが、都市部にあこがれて来た方にとっては人の温もりを感じるという声もあった。名寄は大きい都市ではないが小さすぎず、人とつながりを持てるところが強みであると考え、基本理念に「つながりづくり」と設定した。

将来像も皆さんからのご意見をいただいた部分となっている。名寄は何でもあるわけではないが、不自由しないまちという意見が多かった。こういった点も踏まえ、「ここがいい」ではなく「ここがいい」と思ってもらえるようなまちをつくっていきましょうということで、市民ワークショップで出たこの言葉を将来像の表現として活用した。加えて、アンケートで答えが多かった「豊かな自然」を名寄の武器として、そして、「つながり」を大切にすることによって名寄をいいまちにしていこうという想いをもとに将来像を設

定した。これらが、いたいたご意見を基本構想に反映したところとして大きな部分となっている。

会 長：今の話で良く分かったが、20頁に記載されている市民ワークショップの結果が「つながり」につながっていくなど、もっと可視化されると分かりやすいのではないかと思う。また、今回Well-Beingの指標を用いてアンケートを行っているが、これが基本構想のどこにつながっているのかを知りたい。

事務局：Well-Being指標の主観的データをどのように基本構想に反映しているのかということかと思うが、今後作成する基本計画や実施計画の中にアンケート結果を反映していきたいと考えている。

会 長：たくさんの市民の方から回答をいただいております、市民の明確な意向が示されているように思えるので、是非基本構想にも反映できればと思った。説明いただいたことについては理解した。

委 員：30頁に「将来の展望」とあり、書いてあることはこの内容でもいいとは思いますが、私の固定概念なのかもしれないが、計画に掲載する展望は明るい未来を示すものと捉えており、記載してある内容が計画における展望とマッチしているのかどうか気になった。

事務局：ご意見いただいたとおりと感じている。第2次総合計画では「人口の将来展望と方向性」と表現しており、今回の案ではマイナスな展望になってしまっているため、もう一度整理をした上で改めてお示ししたい。

- (5) 専門部会の設置について [資料5-1、資料5-2]
事務局より説明

【質疑応答】

特になし

案の通り、専門部会の設置について決定

- (6) 専門部会所属委員の指名について [資料6]
会長より説明

【質疑応答】

特になし

案の通り、専門部会所属委員の指名について決定

- (7) スケジュールについて [資料7]
事務局より説明

【質疑応答】

特になし

- 4 その他
部会の実施概要について事務局より説明

5 閉 会
結城会長より全体会の閉会

以降、3部会にて部会長、副部会長選出及び第2次総合計画の進捗状況について報告

[会議資料]

- 資料1 名寄市総合計画（第2次）後期実施計画の見直しについて
- 資料2 将来人口推計報告書
- 資料3 名寄市総合計画（第3次）策定に向けたアンケート調査報告書〈概要版〉
- 資料4 名寄市総合計画（第3次）基本構想（案）
- 資料5-1 名寄市総合計画審議会専門部会構成（案）
- 資料5-2 名寄市総合計画審議会の組織概要
- 資料6 名寄市総合計画審議会専門部会所属委員（案）
- 資料7 名寄市総合計画（第3次）策定スケジュールと内容